

登録コード	A3594336	開講年度	2026			
授業科目	専攻研究Ⅰ				担当教員	上野 豊
英文授業名	Thesis ResearchⅠ					
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ					
	【2022年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	専門的な知識や研究能力とは何を意味するのかを理解できる
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	留学生含め、研究室メンバーと協調して、動物生産を取り巻く諸問題の解決策について考えることができるようになる
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ					
	【2024年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	専門的な知識や研究能力とは何を意味するのかを理解できる
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	留学生含め、研究室メンバーと協調して、動物生産を取り巻く諸問題の解決策について考えることができるようになる
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	論文作成、発表、最終試験などの課題をクリアできるように、研究計画の立案、分析技術の修得、実験の遂行、結果のまとめと解析、プレゼンテーションの技術などの指導を段階的に行います。					
(5)授業計画	1.研究計画の立案について 2.分析技術の習得について 3.研究の遂行について 4.結果のまとめと解析について 5.プレゼンテーション、対外発表について 6.論文作成について					
(6)自主学習の指針	以下の各素養を培うべく、励んでください。 多様な情報を適切に取捨選択し、分析・活用できる【情報活用力】 みずから問題を見出し、すじみちを立てて解決できる【問題発見・解決能力】 自然や社会の現象を普遍的な尺度や数量的指標を用いて理解できる【普遍的・数量的理解力】 専門学問分野における知識・技能を備え、それらを応用できる【専門知識と応用力】 自然および人類社会が直面している環境問題を理解することができる【環境基礎力】 地球環境と人類文化との調和・共生のため、積極的に行動することができる【環境実践力】					
(7)成績評価の基準	顕著な研究成果の有無よりも、研究態度や課題と向き合う意欲に関して、学士として相応しい資質を修得しているか否かを重視します。					
(8)事前事後学習の内容	以下の各素養を培うべく、励んでください。 多様な情報を適切に取捨選択し、分析・活用できる【情報活用力】 みずから問題を見出し、すじみちを立てて解決できる【問題発見・解決能力】 自然や社会の現象を普遍的な尺度や数量的指標を用いて理解できる【普遍的・数量的理解力】 専門学問分野における知識・技能を備え、それらを応用できる【専門知識と応用力】 自然および人類社会が直面している環境問題を理解することができる【環境基礎力】 地球環境と人類文化との調和・共生のため、積極的に行動することができる【環境実践力】					
(9)テストやレポートの予定	研究成果を適切な時期に、適切な方法で外部に広めていくことが、研究者の大切なresponsibilityと考えており、学部には籍を置く皆さんにとっても例外ではありません。 対外発表や他研究者との交流機会は積極的に設けます。そうした機会を通じて、ぜひ自身を客観的に観察し、一段の成長を図ってください。					
(10)成績評価の方法	研究への取り組み姿勢、技術的な修得の程度で評価します。					
(11)質問、相談への対応および連絡先	指導教員が直接、誠心誠意【懇切】【丁寧】【的確】に対応します。 大学教員にとって教育は最重要業務ですが、それだけでなくほかの業務もあります。限られた時間を有効に使えるように、できる範囲で質問相談の内容を事前に整理しておいてください。					
(12)履修上の注意						
【教科書】	なし					
【参考書】	必要に応じ、担当教員が提示します。					